

図 10年間の距離帯別都市計画道路の整備状況

この10年間で整備率が高かったのは仙台駅から6km以上離れた地域であり、計画的な市街地開発が進んだ地域で都市計画道路の整備が進んでいます。
逆に、仙台都心に近い既成市街地で整備率が低く、整備が遅れています。

都市計画道路整備状況（宮城県、仙台市）及び第3回仙台都市圏パーソントリップ調査より作成
※都市計画道路延長はGISにて計測

不足する道路（容量）

道路が担う自動車交通容量と実際に走行する自動車交通量との比(=混雑度)を見ると、多くの断面で交通量が交通容量を超えており(混雑度1.0以上)、道路(容量)が不足しています。

特に、仙台都心から泉中央や富谷町、仙台市岩切から利府町、塩竈中心部、名取市から岩沼市にかけて混雑度1.5以上と容量が50%以上不足しています。

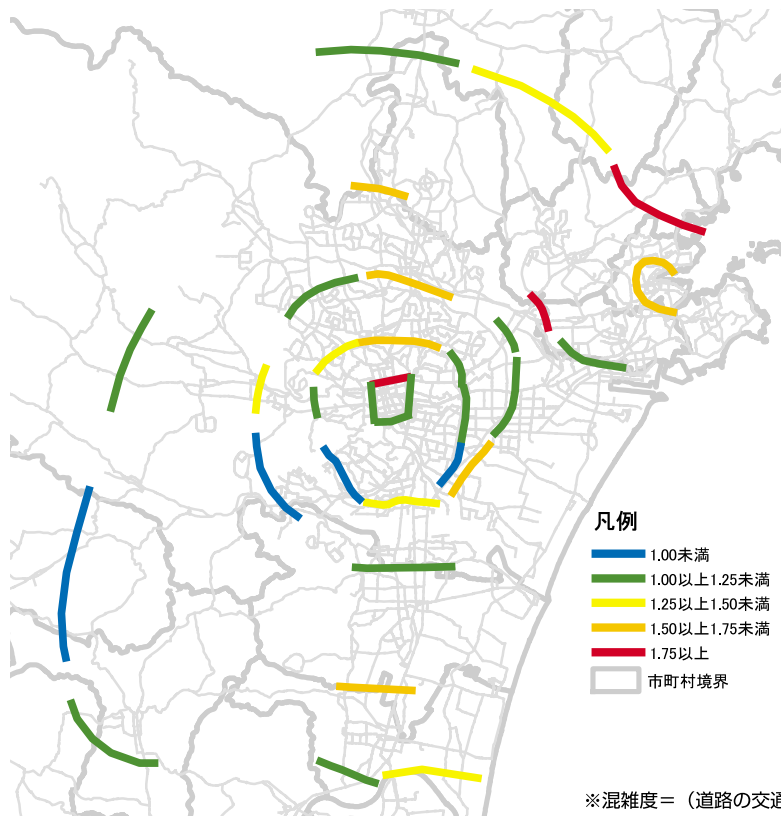


図 道路断面における交通量と道路容量とのバランス比（混雑度）

第4回仙台都市圏パーソントリップ調査による自動車配分結果より作成

※自動車交通量の推計方法

平成14年度に実施した第4回仙台都市圏パーソントリップ調査および平成11年度に実施した道路交通センサスのデータを基に、平成14年現在の自動車の地域間交通量を推計し、これを仙台都市圏の道路網に配分して各道路の交通量を推計しました。